

平成27年度 学校評価総括表 伊丹市立桜台小学校

		心豊かでたくましく、自ら学ぶ意欲をもつ児童の育成						
重点目標		①「わかる授業」「楽しい授業」をめざした授業改善の推進。②豊かな人間性を育てる心の教育の推進。③健やかな体の育成と、健全な食生活の推進。④共感的な児童理解に基づく生活指導の充実。⑤教育環境の整備と学校安全の充実。						
項目	重点項目	具体的施策	達成目標	自己評価	成果と課題	改善策	学校関係者評価	
学力の向上	「わかる授業」「楽しい授業」をめざした授業改善	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的、基本的な知識・技能を習得する。 ・「わかる授業」を進めるため、授業研究を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の小テスト、算数の振り返りテストを定期的実施する。 ・全ての教員が年1回以上授業を公開するとともに、授業研究を伴う校内研修を年間3回以上実施する。 ・週に1回以上の放課後学習や算数タイム・朝学習で、定期的に学力補充を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字テスト、振り返りテストの正答率が90%以上になる。 ・全ての教員が年1回以上授業を公開する。 ・児童生徒アンケートにおいて、「授業はわかりやすく楽しい」と回答した割合が85%以上になる。 ・各教科の評価テストにおいて、平均正答率が8割程度になる。 	B	<p>朝学習・えんぴつタイム・放課後学習を通して国語、算数の基礎学力の定着に努めた。家庭学習「低学年30分・中学年60分・高学年90分」を目指して、宿題と一緒に「さくらノート」の活用がさらに進められた。「授業はわかりやすい。」と答えた児童が84.7%となった。</p>	<p>引き続き朝学習・えんぴつタイムの充実や、放課後学習で、学習に不安のある児童と向き合う時間を増やしていきたい。また、研究推進担当を中心に、授業力・学級経営力の向上を図れるような研修を計画的に進める。</p>	<p>各学年の授業において、「めあて」が提示されていた。また、ICTの活用も進んでいる。全国学力・学習状況調査における成果を期待する。</p>
	思考力・判断力・表現力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・思考力、判断力、表現力を育てる授業を展開する。 ・読書活動を充実させ、語彙力の獲得を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業における観察・実験、レポートの作成、論述などの学習活動を発達段階に応じて充実させる。 ・単元の中で、グループや全体において、自分の考えを伝え合うなどの話し合いの場面を設定する。 ・朝の読書タイムや学期に1回の「読書週間」の推進、学級文庫の充実により読書習慣作りを進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国語の記述問題において、無答率が0%になる。 ・ワークシートや授業の振り返りの記述に、考えの深まりが見られる。 ・児童アンケートで「本をたくさん読んでいますか」と回答する割合が80%以上になる。 	B	<p>ワークシートなどの充実やノートの取り方の指導を通して書く事への抵抗を少なくしていった。また、グループ活動を取り入れるなどして自分の考えを深めたり、友だちに伝えたりする活動を多く取り入れた。読書を好む子どもは多くいるが、学校の本を多く読んでいると答えた児童は60%未満だった。</p>	<p>ワークシートの効果的な活用を図るとともに、自分の考えを友だちと交流する時間を設定した授業展開を行う。家庭での読書の推進に努めていく。</p>	<p>学校図書館のバーコード化により、読書教育が推進されていることがわかる。家庭と連携し、家でもたくさん本が読めるような取組を期待する。</p>
	学習意欲の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の展開を工夫し、学習意欲を向上させる。 ・家庭学習を充実させ、学習意欲を向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・導入・展開・まとめのそれぞれにおいて、電子黒板や実物投影機等のIT機器の活用を進め、児童の学習意欲を高める。 ・家庭学習の目標時間低学年30分、中学年60分、高学年90分を達成させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒アンケートにおいて、「先生は、教え方にいろいろ工夫している」と回答した割合が85%以上になる。 ・授業で、電子黒板や実物投影機などのIT機器の活用が80%以上になる。 ・低学年30分、中学年60分、高学年90分の目標時間を達 	B	<p>「先生は、教え方にいろいろ工夫している。」については、80%の児童が肯定している。また、授業における電子黒板や実物投影機などのIT機器の活用が80%を超えている。</p>	<p>さらに、ICT機器の活用を努めていく。また、家庭学習の目標時間に近づけるように、学習内容を工夫できるように提示をする。</p>	<p>家庭と連携した家庭学習習慣の定着に向けた取組に期待する。</p>

豊かな心・健やかな体	不登校への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校児童の未然防止に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1日目の欠席でも理由により家庭訪問を行うとともに、関係機関との連携を密にし、保護者への粘り強い働きかけを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校児童数が0人になる。 ・児童アンケートにおいて、「自分を大切にすることや、他の人への思いやりについて教えてもらっている」と回答した割合が85%以上になる。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・児童アンケートにおいて、「先生や友達に、すすんであいさつしている」と回答する割合が80%以上になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童アンケートにおいて、「クラスで、命を大切にすることやいじめやいたずらをされた人の気持ちを考えていますか」と回答する割合が85%以上になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童アンケートにおいて、「自分や友達に、すすんであいさつしている」と回答する割合が75%であった。あいさつ運動を進めている。また、学期ごとにいじめアンケートを実施し、児童理解と迅速にその対応を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1日目の欠席でも理由によっては家庭訪問を行うなど家庭とのつながりを深めるとともに、登校しにくい状況がどこにあるのかを見極めるためにケース会議を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・組織的な生徒指導体制を構築し、いじめや不登校の未然防止に取り組んでいきたい。
	豊かな心の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳の授業をはじめ、いろいろな場で互いを大切にし、違いを認めあえる子どもを育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学期はじめの月を「あいさつ月間」と位置づけあいさつ運動に取り組む。 ・各学期1回は、「いじめアンケート」調査を実施し、その対応を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学期はじめの月を「あいさつ月間」と位置づけあいさつ運動に取り組む。 ・各学期1回は、「いじめアンケート」調査を実施し、その対応を図る。 		B	<ul style="list-style-type: none"> ・先生や友だちに、すすんであいさつしている」と回答する児童の割合は75%であった。あいさつ運動を進めている。また、学期ごとにいじめアンケートを実施し、児童理解と迅速にその対応を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初と各学期のはじめの月を「あいさつ推進月間」とする。あいさつ運動の推進に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「知らない人に声をかけられても返事をしないように」という指導をしなければならない地域社会において、あいさつ指導は難しいかもしれない。しかし、挨拶はコミュニケーションの第一歩であることを踏まえ継続的に指導していただきたい。 	
体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の中で自ら進んで運動に親しむ児童を育て、基礎体力の向上をめざす児童を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育時にペースランニング、サーキットトレーニング等を効果的に取り入れ、体力作りの基礎を培う。 ・冬期の業間休みに週一回耐寒訓練を実施する。 ・領域のバランスを考えた体育の年間指導計画を立案し、運動に親しむ機会を増 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツテストの伊丹市の目標指数100(県平均)を超える。 ・「体育がすき」という子どもが8割以上になる。 ・半数以上の児童が業間休みにに運動場で遊ぶ。 	C	<ul style="list-style-type: none"> ・休み時間には元気に校庭で遊んでいる子どもは半数を超える。耐寒訓練の実施も行うことができている。体力の向上についての取り組みについてはまだまだ課題が残ると回答している教師が30%ほどおり課題が残る。 		<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達の自己の体力に対する関心を高めるとともに、単元学習の導入や準備運動の工夫など、教科体育の中で系統的に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の体力調査結果において、全国平均を上回り、上昇傾向であることは喜ばしい。 		

開かれ信頼される学校園	学校情報の積極的な発信	・色々な機会をとおして、積極的に学校情報を発信する。	・学校だよりを月1回以上発行し、地域にも配布する。 ・学校ホームページを月1回以上更新し、学校情報を積極的に発信する。	・学校だよりを月1回以上発行する。 ・自校のホームページを月1回以上更新する。 ・保護者アンケートにおいて、「学校は、学習の場として子どもが活動しやすい環境が整っている」と回答した割合が90%以上になる。 ・保護者アンケートにおいて、「学校は保護者の願いに応えている」と回答した保護者の割合が90%以上となる。	A	活動しやすい環境、学校通信(学校だより)の発行、ホームページの更新は十分にできたと考える。保護者アンケートでも90%近く満足していると回答している。また、「学校は学習の場として子どもが学習しやすい」	幅広い視点で発信することで、保護者の関心を高めたい。	情報が届きにくい家庭があると思われるので、様々なメディアを使って積極的に学校情報を発信していただくことを期待する。

学校関係者評価総括

子どもたちの安心・安全を第1に考え、知・徳・体の調和のとれた桜台の子どもたちの育成に尽力願いたい。

次年度に向けた重点的な改善点

「分かる授業」の創造と、基礎基本の確実な定着を図る等の学力の向上を目指す。また、身近に本がある環境をさらに整備し、読書習慣の定着を図る。インクルーシブ教育を進め児童の自尊感情を高める。